

これからの障がいのあるこどもの支援



社会福祉法人麦の子会 理事長
一般社団法人全国児童発達支援協議会 副会長

北川聡子

誰ひとり取り残すことのない支援

障害児支援

一般子ども施策

これまで
は別々

こども家庭庁

これからは
一緒！



障害のある子もいない子も大切な日本のこども

A close-up photograph of a person's hand holding a small, vibrant green plant sprout with several leaves. The background is a soft, out-of-focus white surface, possibly a tablecloth. The lighting is bright and natural, highlighting the texture of the skin and the freshness of the plant.

すべての命が
大切に育まれるために

児童発達支援センター

父母・きょうだい等への支援【家族支援】

子どもへの支援【発達支援】



コミュニティアプローチ【地域支援】



発達支援 適切に配慮された子育て

Developmental Support

〈幼児期〉 障害があってもなくても 発達支援で大切にしなければならないこと

- 子どもは大人との**愛着関係の形成が大切です**

障害特性のある子どもは愛着形成に時間がかかり、難しいこともあります。が、**安心感・信頼感の一生の土台となります。**

- アタッチメント対象が存在することは、人間関係作りの基礎となります(共感・良心・安心感・安全感)
- 自制心・自癒能力（不安・恐怖の時にもアタッチメント対象がいることで安心感をもたらします。）
- 愛着形成を基盤に探索や学習への意欲へとつながります。



朝の会「絵本（大きなかぶ）」



お母さん・職員・友達との毎日の楽しい積み重ねが豊かな育ちにつながります



医療的ケア児と共に - 重症心身障害児デイサービス -



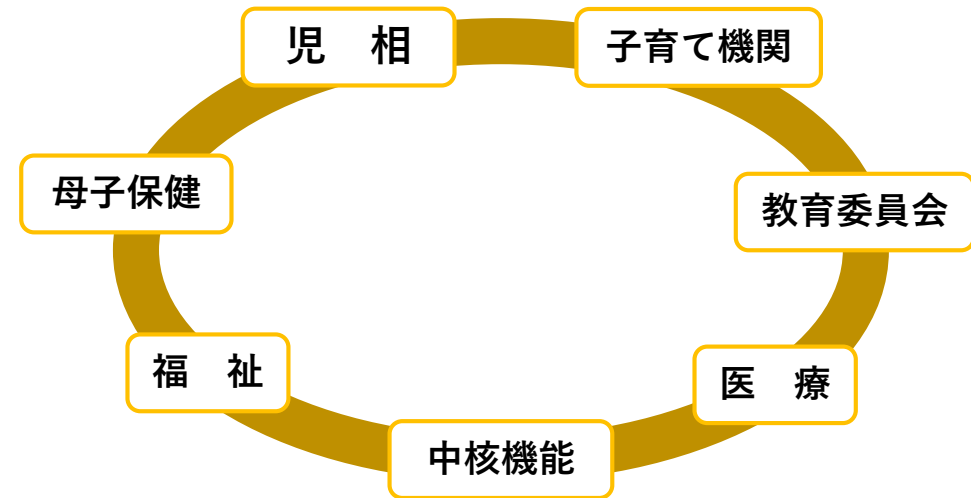
医療的ケア児等総合支援事業



聴覚障害児支援クラス「ベル」



ベルは、令和4年度に開始した難聴児を対象にした児童発達支援です。聴覚活用と言語発達を期待する保護者と幼児に対し、話し合い活動、手遊びや絵本読み、音楽リズム、ルールのある遊びを通し、コミュニケーションを大切にした発達支援を行っています。幼稚園や保育所等と並行して通所する幼児に対し、必要に応じて在籍する幼稚園等への難聴児支援に関する援助を行っています。令和5年度は、就学後の児童に対する支援も始めます。家族支援も実施しています。



聴覚障害児支援中核機能モデル事業。

ライフステージを通じて切れ目なく — 放課後等デイサービスでの支援

朝起きれない・不登校

暴言・暴力

学力不振・過適応・自殺企図

外傷性ストレスに対する対応

思春期の支援 — 放課後等デイサービスの活動

- ☆成し遂げるよろこび
- ☆友達・大人に褒めてもらうよろこび



親離れへの挑戦

大人になるにあたっての大切なことは、友達・仲間の存在

- ☆孤立をふせぐ
- ☆仲間の存在
- ☆グループ活動



放課後等デイサービスのスタッフによる普通学級の子どもへの支援



不登校の子の支援（放課後等デイサービス）



**学びの時間・外での活動・給食の時間
9：00～15：00**

お母さん、
家族を支える。



なぜ
家族支援が
大切なのか

子どもを救うためには、家族が救
われなければならない
(ネウボラ保健師の言葉)

心理・相談支援の必要性

グループカウンセリング

個別カウンセリング

トラウマワーク

カップルカウンセリング

お母さんピアカウンセリング

ペアレントトレーニング



取り組みの効果 - 発達支援・家族支援を受けていた子たちの今 -



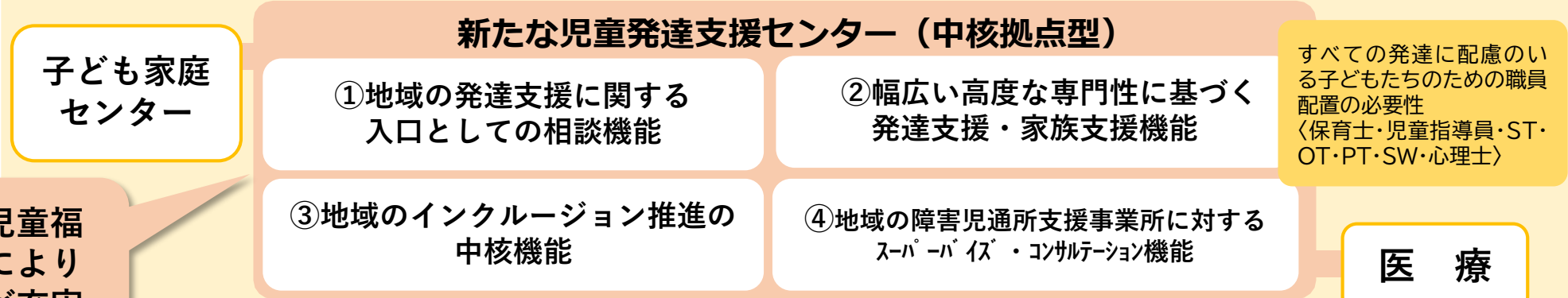
児童発達支援センターを卒園し、その後18歳まで放課後等デイサービスの発達支援・家族支援を受け続けた子ども達が、進学できたり、資格を取ったりした現在37名（正職24名 パート13名）、麦の子会の様々な場所で働いています。

障害児支援を子育ての場に届けるために
地域全体に広げるために

地域支援の充実

児童発達支援センターの支援のリソースを
地域の支援の必要なすべての子どもと家族へ

全国どこでも、困り感のある子どもと家族を真ん中に 切れ目・もれなく必要な支援が行われる地域づくりを推進するために



令和6年児童福祉法改正により中核機能が充実

地域に住む育ちに困り感のある子どもと家族そして事業所を支える
インクルージョン拠点のスタートです

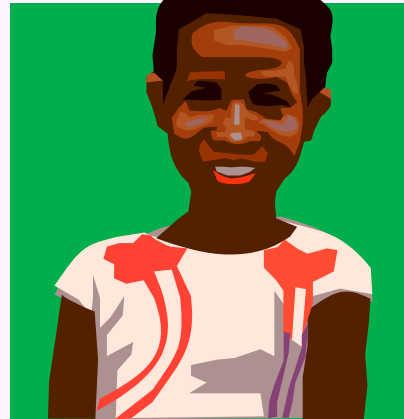
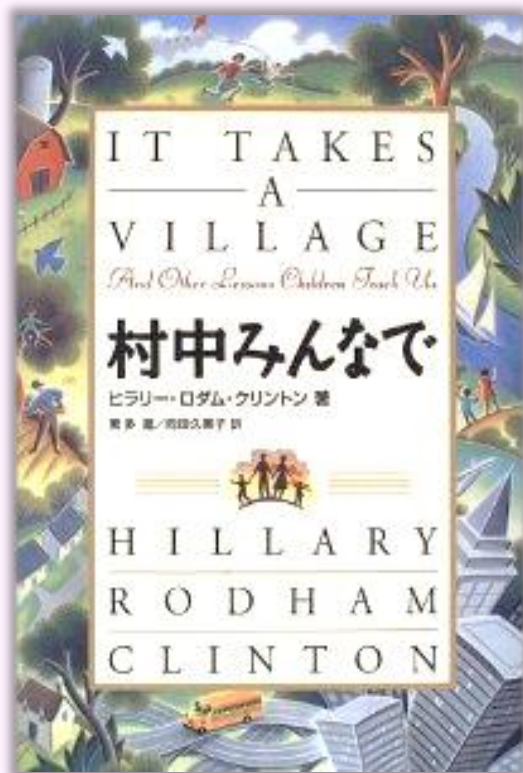
今後より機能強化して地域でインクルージョンを広げられるように



地域全体を支えていくために

一人の子どもを育てるには、 村中の大人の知恵と力と愛が必要

— アフリカのことわざ —



子育てはみんなです



障害児支援は、こどもの声を聞き、生まれてきてよかったと思える日々、この世は生きるのにあたいすると思える多様性が尊重される社会のためにあります



通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について



I. 児童生徒の困難の状況 (平成14年・平成24年調査と対象地域や一部質問項目等が異なるため、単純比較することはできないことに留意)

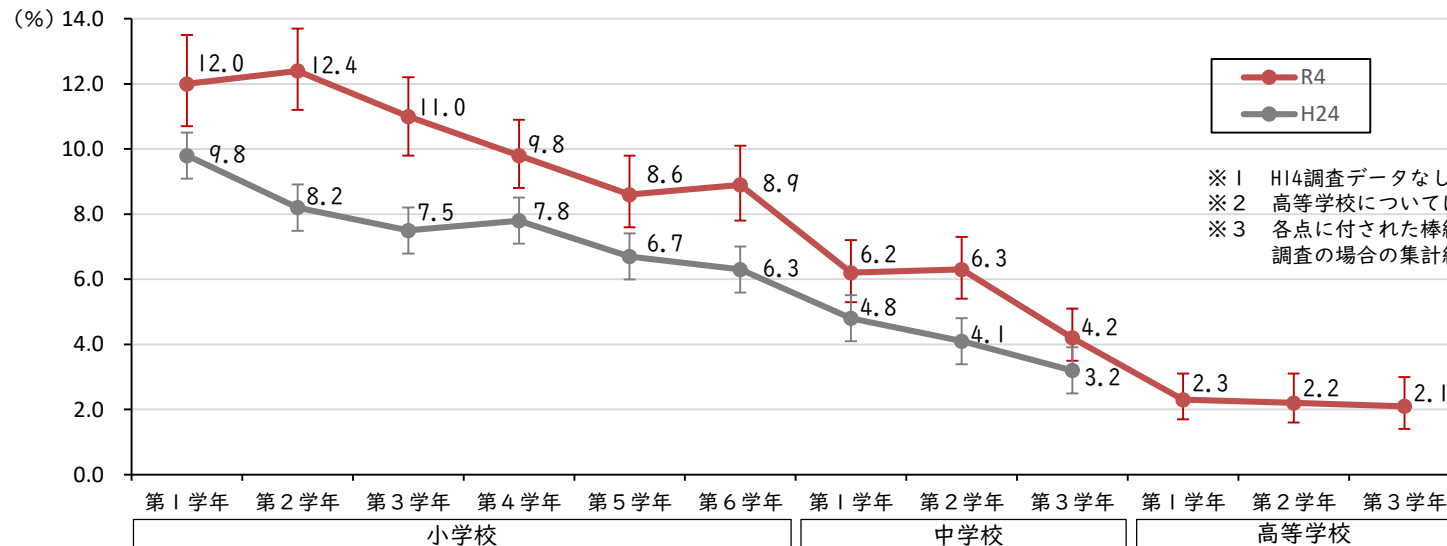
令和4年	小学校・中学校	高等学校 ^{※1}
学習面又は行動面で著しい困難を示す	8.8%	2.2%
学習面で著しい困難を示す	6.5%	1.3%
「聞く」又は「話す」に著しい困難を示す	2.5%	0.5%
「読む」又は「書く」に著しい困難を示す	3.5%	0.6%
「計算する」又は「推論する」に著しい困難を示す	3.4%	0.6%
行動面で著しい困難を示す	4.7%	1.4%
「不注意」又は「多動性-衝動性」の問題を著しく示す	4.0%	1.0%
「不注意」の問題を著しく示す	3.6%	0.9%
「多動性-衝動性」の問題を著しく示す	1.6%	0.2%
「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す	1.7%	0.5%
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	2.3%	0.5%

(参考) 過去の調査結果 ^{※2}	H24	H14
学習面又は行動面で著しい困難を示す	6.5%	6.3%
学習面で著しい困難を示す	4.5%	4.5%
「聞く」又は「話す」に著しい困難を示す	1.7%	1.1%
「読む」又は「書く」に著しい困難を示す	2.4%	2.5%
「計算する」又は「推論する」に著しい困難を示す	2.3%	2.8%
行動面で著しい困難を示す	3.6%	2.9%
「不注意」又は「多動性-衝動性」の問題を著しく示す	3.1%	2.5%
「不注意」の問題を著しく示す	2.7%	1.1%
「多動性-衝動性」の問題を著しく示す	1.4%	2.3%
「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す	1.1%	0.8%
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	1.6%	1.2%

※1 高等学校については、令和4年のみ

※2 平成14年調査及び平成24年調査結果は、小学校・中学校のデータ

<「学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされた児童生徒の学年別の推移>



※1 H14調査データなし

※2 高等学校についてはR4のみ

※3 各点に付された棒線は95%信頼区間(95%の確率で悉皆調査の場合の集計結果を含む範囲)を表す。

発達支援は一人ひとりへのオーダーメイドの支援



アセスメントに基づいた 発達支援

- ① **トータルなアセスメント**
医学的診断・生理的な特性・発達段階
・行動観察・クラス環境・家庭環境の
聞き取り等
- ② **その子にあった支援の計画**
- ③ **支援の実施**
- ④ **振り返りと評価・改善**

いろいろな行事への参加 – 支えられ励まされての挑戦

リレー



かけっこ



壁のぼり



発表会

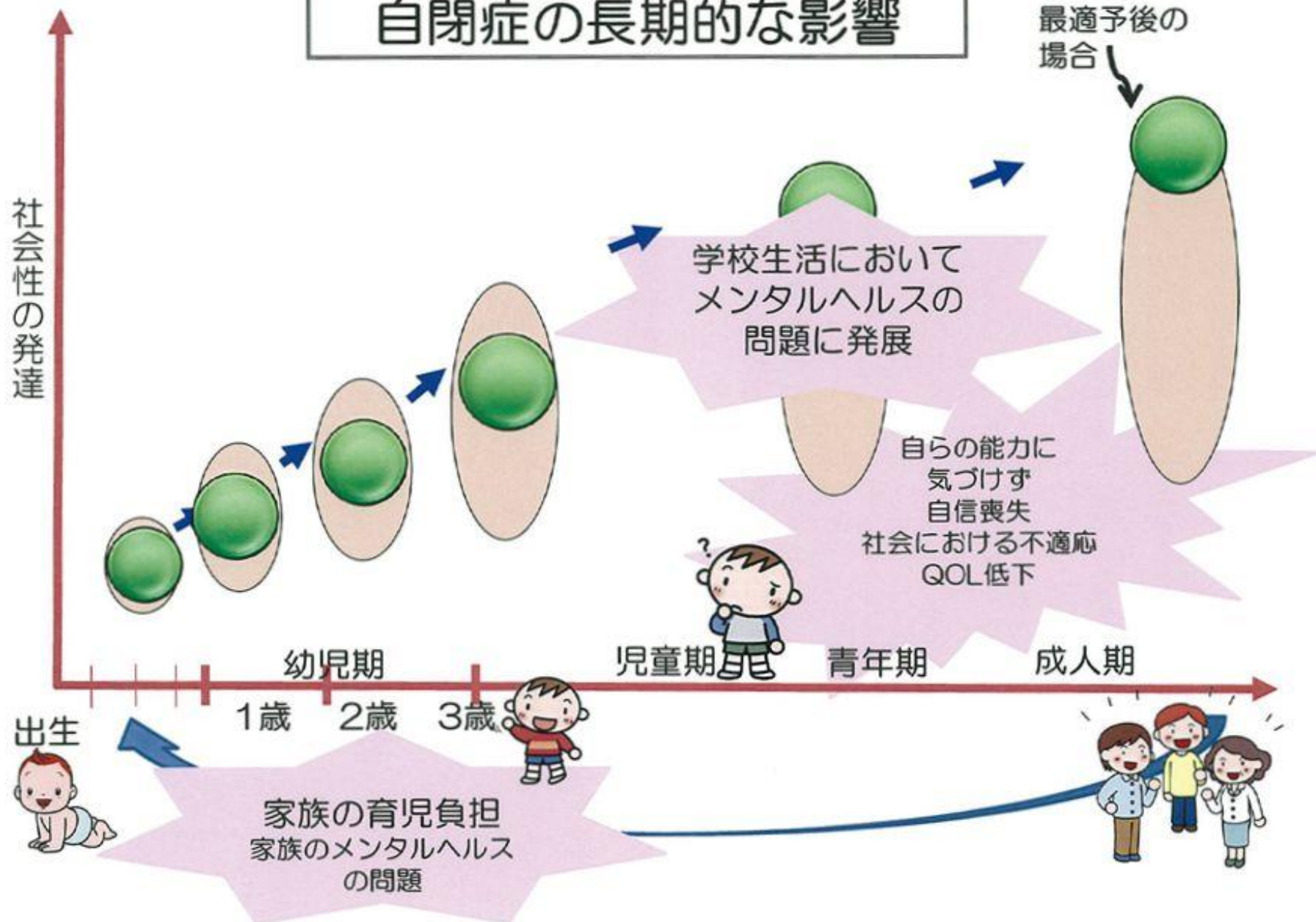
親子発達支援



親子発達支援の後に行う、 お母さんと発達心理士、臨床心理士とのカンファレンス



自閉症の長期的な影響



2012年度 発達に気になる子の育ちを考える夏季セミナー 発達障害の医療に関する基礎知識 ～自閉症スペクトラムに関する最近の知見を中心に～、高橋秀俊、2012.8.4. より引用

ケアニーズの高い子どもも障害児支援が受け止めている

□ 内在化問題行動

□ 外在化問題行動

「発達障害の二次障害」として把握する場合は、内在化障害、外在化障害

内在化問題行動の例	外在化問題行動の例
過度な緊張, 不安, 恐怖 身体的愁訴, 抑うつ 緘黙, 人や集団を避ける 不登校, ひきこもり 嗜癖行動 自殺関連行動	易刺激性, 易怒性, かんしゃく 反抗, 不応諾・不服従, 攻撃 暴言・暴力・器物破損 虞犯・非行・犯罪

放課後等デイサービスの活動の様子 (遊び・生活・社会的な経験・活動・仲間づくり・安心安全な場)



個別にスケジュール確認



学 習



ミーティング・学びの時間



絵本の読み聞かせ



室内遊び

公園での遊び



夏休み郊外での活動 30

学童親子運動会 – 学齡期も親の存在・親同士のつながりが大切 –



生活支援 – ホームヘルプ・ショートステイホーム

家庭での身体介護
学校への登校支援など
毎日20名以上の子どもが利用



子育て支援ではとても大切
400名の子どもが登録
毎日20名以上の子どもが利用



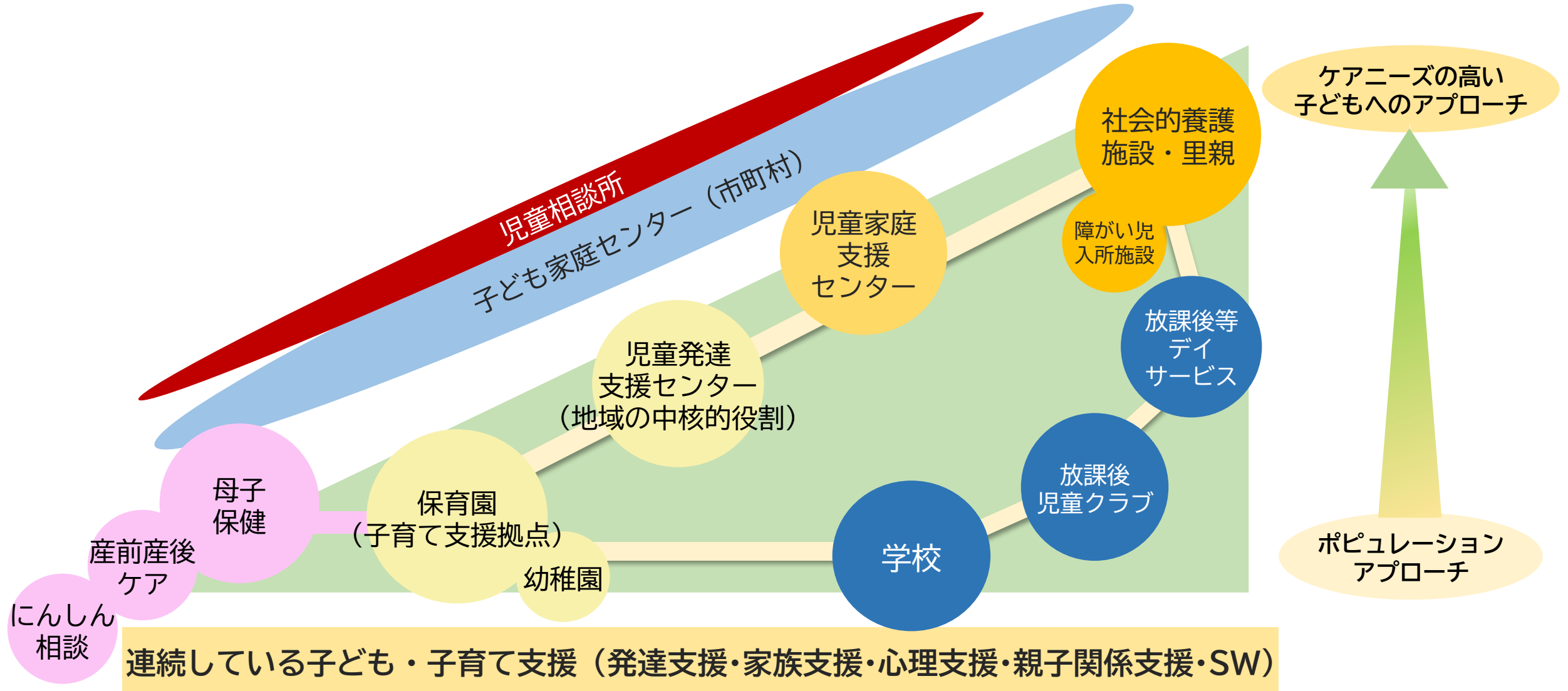
※一時保護委託の子ども利用もあります

障害のある子どもと里親さん



障害児里親支援の充実が求められます

社会が地域の全ての子どもと家族を温かくつつむ



ご清聴
ありがとうございました

